

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	必要に応じて、個室を使用することを子どもたちに提案するようにしている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	送迎時に人員が足りているかの確認を毎日複数人で行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	バリアフリー設計ではないため、必要とする機会があれば設置していく。空間を分けるものがないため、お子様にわかりやすくパーテーションを設置していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日プレイルームやトイレ清掃の実施を行っている。また子ども達がメリハリをつけて過ごせるように学習エリアと遊ぶスペースを分けている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	必要に応じて、個室を使用することを子どもたちに提案するようにしている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	個別支援計画書を共有し、会議や朝礼時に振り返りを行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様から頂いたご意見を職員間で共有し、業務改善に努めている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日職員朝礼を行い、意見を出し合うことにより業務改善に努めている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	必要に応じて第三者より外部評価を行える環境にはある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	ホームページを活用し研修の機会に積極的に参加し研修内容を職員間で共有する時間を作っている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	月に1回会議を開き翌月にどんなプログラムが児童のためになるかを討論している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	3	保護者様のニーズに合っているか擦り合わせの機会を作り支援が必要とされる点を確認していく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	定期的に会議を行い、現在の児童の様子や心境、行動の変化を共有している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	職員間でいつでも計画書が確認できるようにしている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	各支援項目を作り、ここに必要な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員で活動の役割を決めて、意見を出し合い活動を提供している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	活動の役割を変えたり、たくさんの活動を体験していただけるように努めている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別でも集団でも適した支援が行えるよう計画されている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼にて、情報共有を行い一日の流れをイメージできるようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	3	終礼はないため、打ち合わせをする時間は少ないが朝礼にて情報共有は行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	連絡帳に記載をし、必要があればlineを通じて保護者様に支援記録を伝えている。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリング以外でも必要であれば面談の機会を設けニーズのすり合わせができるように努めていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	月ごとの活動スケジュールをもって様々な組み合わせを複数組み合わせ合わせて支援を行っている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	活動を開始する前に活動に参加しなさいと伝えるのではなく参加しない自由もあることを伝え、掲示をしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	保育、教育に比べ医療との連携はやや弱い為強化する必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	各学校、保育園との行事のやりとり（終業式や短縮授業など）を漏れがないよう他校や他園と照らし合わせ連絡をとっている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	5	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	児童部会への参加、行政による研修への参加の機会を設けている
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	実施したことはないため、今後事業所を地域に周知できるように努めていく。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	児童部会に参加している。 以前に比べ他事業所とも連携している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	連絡帳はもちろんのこと、必要であればLINEにて共有し、送迎の際には状況を伝え保護者の意見をヒアリングしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	家族参加プログラムを増やしていく。 保護者参観は4月に開催予定。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に支援プログラムの説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	頻繁は手段としてはLINE、定期手段として送迎時のコミュニケーションをもって機会を設けている
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	原本をもとに説明を行い、説明を行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	LINEでの日々のやりとりに加え緊急の際に電話を用いて話し、定期的に面談を行い 今後についての話し合いをしている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	3	今後は保護者参観も増やしていき、施設での様子を知ってもらう機会を作っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	1	4	LINEでの連絡体制以外の体制を整える必要がある。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	InstagramやHUGを通じて活動の概要を掲載したり行事予定をこども達や保護者様に発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	snsは個人情報の同意書を取り対応している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個々に合わせた対応ができるよう、絵カードを作成したり、スタッフと一緒に行動できるようにしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	実施したことはないため、今後事業所を地域に周知できるように努めていく。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	避難訓練の際、スタッフのみで訓練を実施し、周知している。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	非常災害に備えて必要な訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントシートにて聞き取りを行っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	5	0	アセスメントシートにて聞き取りを行っている。おやつなどに成分が含まれていないか確認を実施している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	4	安全管理に必要な研修や訓練の実施をしていけるように努めていく。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	安全計画の作成を行い、保護者へ配布し周知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	毎月作成し、職員間で会議で共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止チェックシートを活用し、職員間で集計を出している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	強度行動障害実習に基づいて計画をつくり 保護者に説明をしている